

氷川町会

昭和32年の土地区画整理で板橋八丁目は分割され、従来の八丁目西町会は氷川町会として発足しました。当地区内に鎮守の氷川神社の名を伏したものであります。初代町会長の都築和雄氏を始め、歴代会長は氷川神社の総代を勤めて参りました。

町内には板橋区内創立最古（明治七年開校）の板橋第一小学校があり、長きにわたり町内会をはじめ区内の小学生を卒業させてきました。

また、町内会にある明治5年に創立された養育院（関東大震災後に移転、現・東京都健康長寿医療センター）内には、日本初の銀行・第一国立銀行（現・みずほ銀行）やその他5百社にもなる株式会社にかかわり、初代院長でもある渋沢栄一氏の銅像が、大正14年より社会福祉を支えてきた記念として建てられています。

板橋区役所に隣接し、都営三田線の板橋区役所前駅及び東上線の大山駅、そして仲宿・大山の各商店街に近く住みよい環境にあります。

近年はマンションが多く建てられて、新しい町会活動が要求されてきます。これからも人と人を基本に、安心安全な町作りに貢献致します。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています



打ち水キャンペーン